



映画鑑賞会で「ココシリ」

2回目の緊急事態宣言が解除されてから日も浅い4月11日、藤沢市内で中国映画「ココシリ」の鑑賞会が開かれました。

チベットの秘境ココシリで繰り広げられるチベットカモシカ（高級毛織物の原材料となる）の密猟団とパトロール隊の死闘。海拔 4,700mの過酷な自然環境の中で、生きる意味、死ぬ運命を問う、実話の映画化という触れ込みのとおり、ハラハラ・ドキドキの90分でした。

上映後には大橋一夫・県連事務局次長が資料を使って解説しました。



参加者の感想では、「命がけすごい」「最後にショック」「実話というのでびっくり」という「現実」の厳しさが多く語られ、「チベットの人たちが自発的に守ろうとしている姿に感激した」という声もありました。

一世を風靡した観光路線「青蔵鉄道」のイメージから、「高山の美しい自然と野生動物の様子、チベット族の暮らしや信仰などがもっと見られると思っていたので残念」という感想も出されました。

17名が参加し、日中友好ブックレット「日本は中国でなにをしたか」1冊を普及しました。

オンラインで動画視聴会

2回目の緊急事態宣言さ中の2月14日、予定していた会場が使用できないため、オンラインで「日中友好協会創立70周年記念シンポジウム」の動画視聴会を実施しました。

希望者が各自宅からリモート視聴するだけでなく、役員の事務所をサテライトとして少数の視聴者が同時に視聴しました。

今回は事前に編集しておいた動画を、Zoom機能を使って配信し、視聴後にはそのままオンラインで意見を述べ合うなど、新しい試みも成功させました。

6月20日にウォーキング

来る6月20日（日）午後1時30分より、「岡崎雄児さんの案内で『神奈川の中の中国』を歩く」企画を実施予定です。

今後の感染拡大状況にもよりますが、屋外で初夏の風に吹かれながら、乃木将軍像台座～サムエル・コッキング苑（昆明広場）～宋国伝来碑～児玉神社～常立寺（元使塚）と江ノ島界隈を重点的に回ります。

詳細は後日、ご案内しますので、ぜひ予定しておいてください。

ニエ・アル記念広場 清掃活動

6月7日（月） 午前10時30分～

※毎月第一月曜日に、有志が、中華人民共和国の国歌「義勇軍行進曲」の作曲者である聶耳（ニエ・アル）の慰霊記念碑のある広場を清掃しています。聶耳は1935年7月17日に、遊泳中、鵠沼海岸で亡くなりました。

※小田急線・鵠沼海岸駅下車・徒歩7分
※どなたでも、手ぶらで参加できます。

中国を知るシリーズ <第7回> 華南地方

このコーナーは「理解は絆を強くする」を合言葉に日本中国友好協会が全国的に取り組んでいる「中国百科検定」の公式テキストである「中国百科」から抜粋・加筆してご紹介するものです。

中国を知る機会としてお読みください。

<第7回> 華南地方

■ 広東省

古来「南越」を構成してきた地で独立志向が強く、孫文の広州起義（1895年）、中国共産党の広州起義（1927年）など中央政治に対抗的な土地柄で、「南方週末」など独立傾向の強いメディアもある。

香港との経済的結びつきが強く、省都・広州市周辺が巨大な輸出加工産業の集積地となり、香港に隣接する深圳市は経済特区として目覚ましい発展を遂げた。その結果、GDP、外資導入額、輸出額で全国1位となっている。全国最大の人口1億1,000万人を誇る。



広州市のシンボル
五羊石像

■ 海南省

1988年に広東省から分離されると同時に全省が経済特区となった。北半は亜熱帯、南半は熱帯という気候を活かした観光業と特選物農業を産

業の主体としている。

「東洋のハワイ」と称される海南島にあっては省都の海口市よりも、東海岸の瓊海市や南端の三亚市でリゾート開発が進んでいる。

東南アジア諸国と係争中の南沙諸島や西沙諸島は本省に属すとされている。

人口890万人のうち、16%を少数民族のリー（黎）族が占める。 「東洋のハワイ」海南島



■ 広西チワン族自治区

全国に5つある自治区の一つだが、人口4,700万人の33%を占めるチワン（壮）族と漢族との生活スタイルの差は小さい。

桂林の漓江下りで見られる独特な景観はこの地域のカルスト地形による。

省都・南寧は東南アジア諸国との経済交流の窓口として栄える。

中越国境地帯は、過去のホーチミンとの友好、その後の中越戦争、現在の活発な国境交易など、大戦後の中国ベトナム関係の縮図とも言える。



水墨画の世界・漓江下り